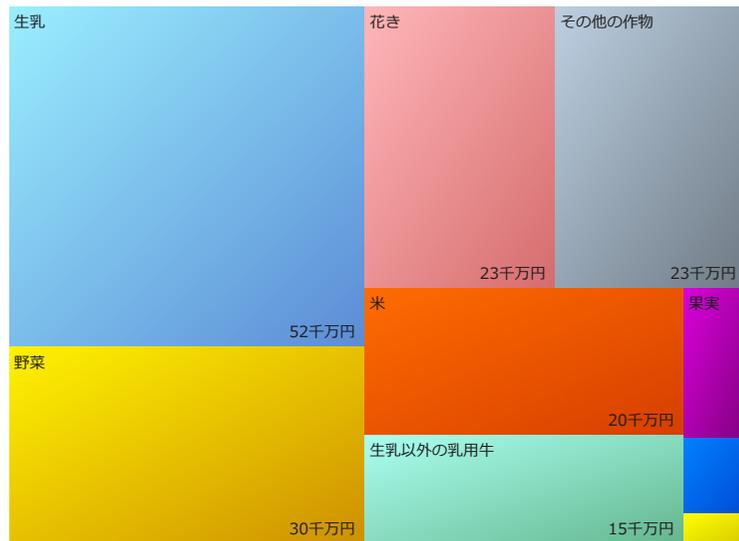


【目的】 農業産出額を用いて、地域の農業の全体像を把握しよう。

品目別 農業産出額

兵庫県宝塚市

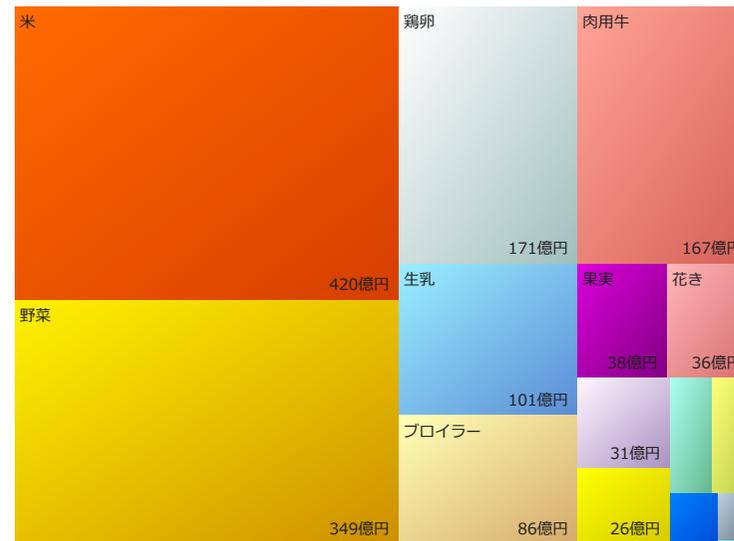
市町村別農業産出額（推計）：168千万円



品目別 農業産出額

兵庫県

都道府県別農業産出額及び生産農業所得：1,478億円



【出典】

都道府県単位

農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」

市区町村単位

農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

【注記】

「その他の畜産物」には、農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」及び「市町村別農業産出額（推計）」で示される「鶏」から「鶏卵」と「プロイラー」を減じた値を含む。

【参照メニュー】

産業構造マップ→農業→農業の構造

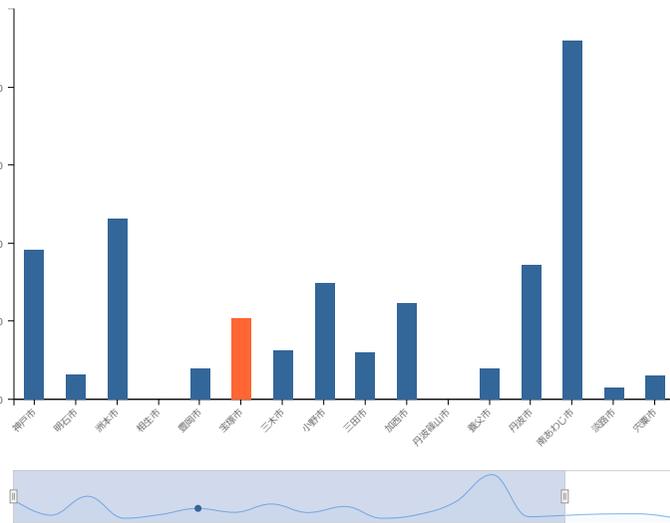
グラフから
読み取れること

農業全体に占める各品目について、2020年の農業産出額を確認する。

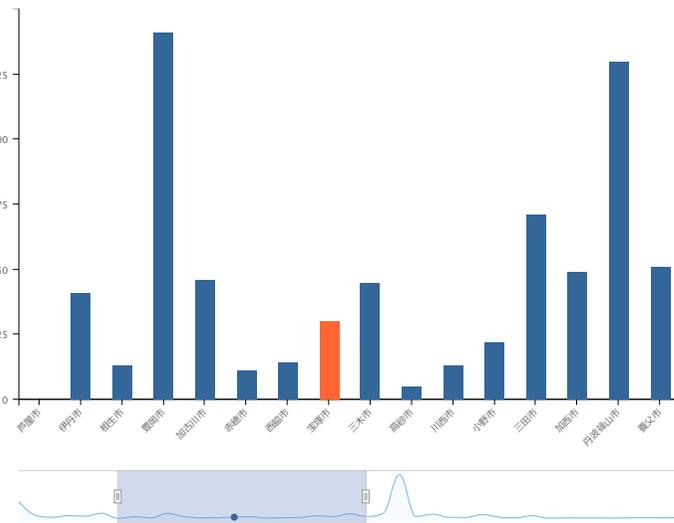
【目的】 地域内の上位1、2の農業産出額を把握し、他地域と比較してみよう。

2020年 兵庫県宝塚市

部門別農業産出額_生乳（千万円）



部門別農業産出額_野菜（千万円）



【出典】

農林水産省「農業産出額及び生産農業所得」

農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」、農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

【注記】

「その他の畜産物」には、農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」及び「市町村別農業産出額（推計）」で示される「鶏」から「鶏卵」と「ブロイラー」を減じた値を含む。

【参照メニュー】

産業構造マップ→農業→農業産出額→農業産出額（総額）を加工

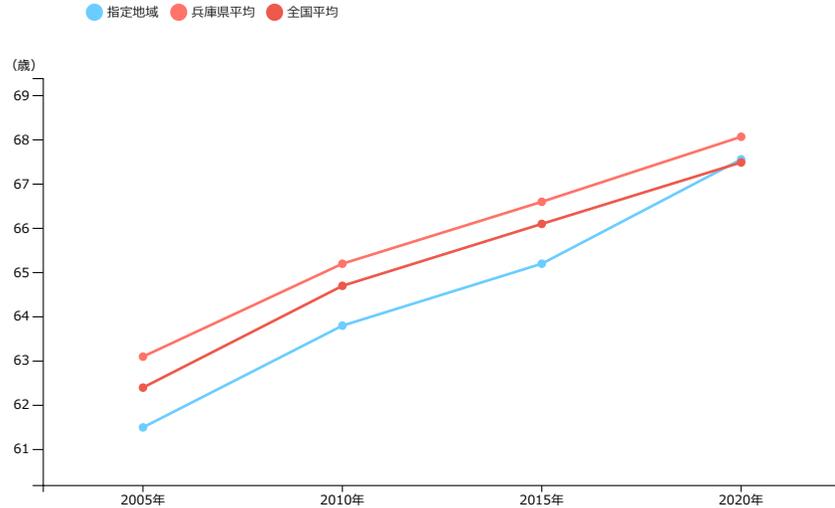
グラフから
読み取れること

2020年の農業産出額の1位は「生乳」、2位は「野菜」であり、グラフには表示されていないが3位は「花き」である。
県内における「生乳」の農業産出額は5位、「野菜」は2位である。

農業経営者の平均年齢

指定地域：兵庫県宝塚市

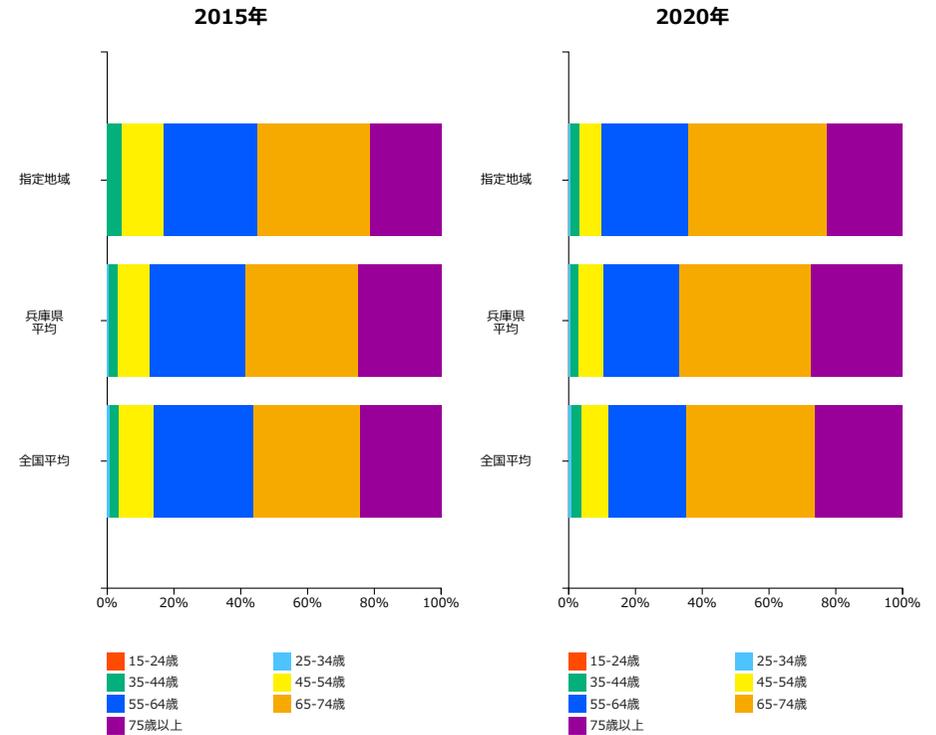
性別：総数



農業経営者の年齢構成

指定地域：兵庫県宝塚市

性別：総数



【出典】

農林水産省「農林業センサス」再編加工

【注記】

農業経営者：農業経営の管理運営の中心となっている者をいい、生産品目や規模、請け負う農作業の決定、具体的な作業時期や作業体制、労働や資本の投入、資金調達といった経営全般を主宰する者をいう。

基幹的農業従事者：15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。

農業経営者、基幹的農業従事者は、2015年までは販売農家（経営耕地面積が30 a以上又は農産物販売金額が年間50万円以上の農家）、2020年は個人経営体（個人（世帯）で事業を行う法人化していない経営体）の値であるため、2015年までの結果と2020年の結果は接続しない。

農業就業人口：農業従事者のうち調査期日前1年間に自営農業のみに従事した者、農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち自営農業が主の者の人口をいう。なお、農業従事者とは、15歳以上の世帯員のうち、調査期日前1年間に自営農業に従事した者をいう。

2020年農林業センサスでは、「農業経営者」から「経営主」に表象名が変更されている。（定義は同一）

2020年農林業センサスでは、「農業就業人口」は把握されていないため、2015年までの表示となっている。

【参照メニュー】

産業構造マップ→農業→農業者分析→年齢構成・平均年齢

グラフから読み取れること

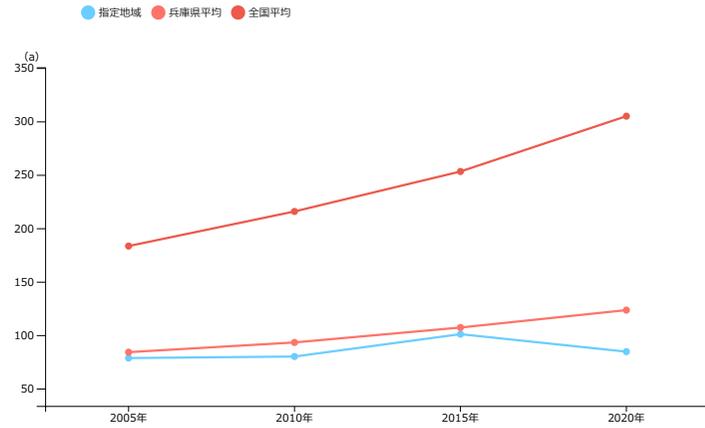
2020年の農業経営者の平均年齢は、全国平均より高い。
2020年の44歳以下の農業経営者の割合は、2015年と比較して0.9ポイント減少している。

【目的】 経営体あたりの経営耕地面積を把握し、経営耕地面積ベースでの経営規模を確認しよう。

経営耕地面積（経営体あたり）

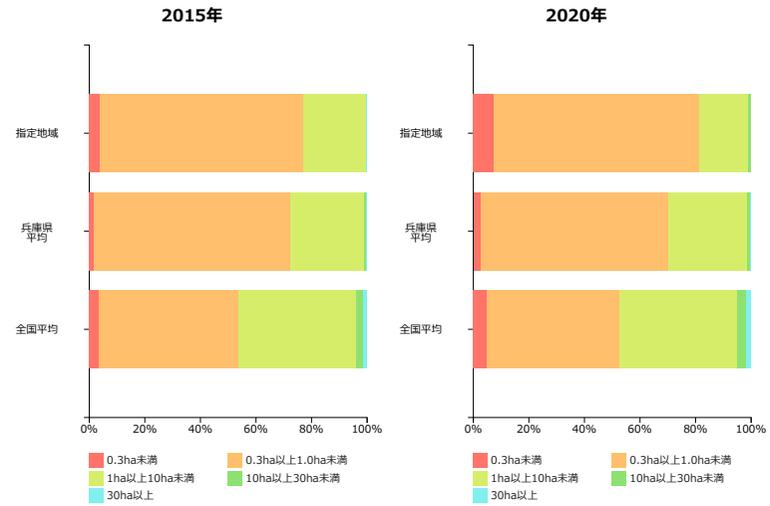
指定地域：兵庫県宝塚市

農地区分：すべての農地区分



経営耕地面積規模別の経営体の割合

農地区分：すべての農地区分



【出典】
農林水産省「農林業センサス」再編加工
【注記】
経営耕地面積（経営体あたり）＝経営耕地面積÷経営体
経営体：経営耕地のある経営体
【参照メニュー】
産業構造マップ→農業→農地分析→経営耕地面積

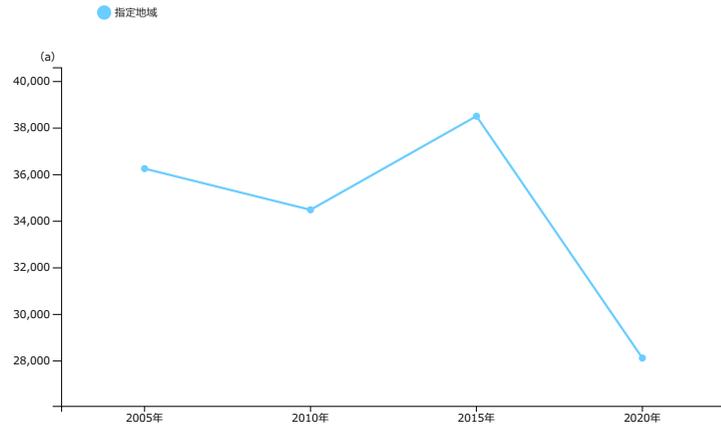
グラフから
読み取れること

2020年の経営体あたりの経営耕地面積は、全国平均と比較して狭く、比較的規模が小さい。
2020年における経営耕地面積が1ha未満の比較的小規模な経営体の割合は、2015年と比較して4.29ポイント増加している。

【目的】 経営耕地面積と農地流動化率から農地が効率的に使われているかを確認しよう。

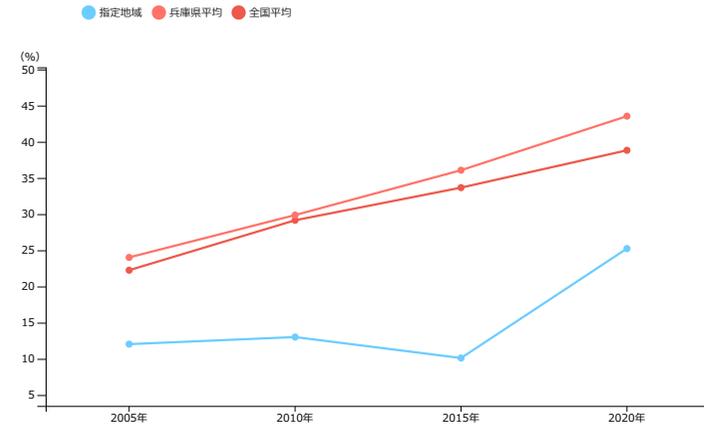
経営耕地面積（総面積）

指定地域：兵庫県宝塚市
農地区分：すべての農地区分



農地流動化率

指定地域：兵庫県宝塚市
農地区分：すべての農地区分



【出典】
農林水産省「農林業センサス」再編加工
【注記】
農地流動化率 = 借入耕地面積 ÷ 経営耕地面積
【参照メニュー】
左図：産業構造マップ→農業→農地分析→経営耕地面積（総面積）
右図：産業構造マップ→農業→農地分析→農地流動化率

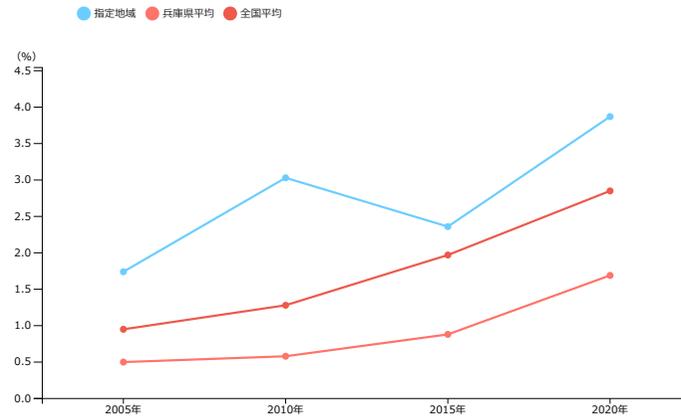
グラフから
読み取れること

2020年の経営耕地面積（総面積）は、2015年と比較して減少している。
2020年の「すべての農地区分」の農地流動化率は全国平均より低く、賃貸借を通じた農地の効率的利用が比較的遅れている。

【目的】 経営体の法人化率を把握し、経営の発展が図られているかを確認しよう。

農業経営体の法人化率

指定地域：兵庫県宝塚市



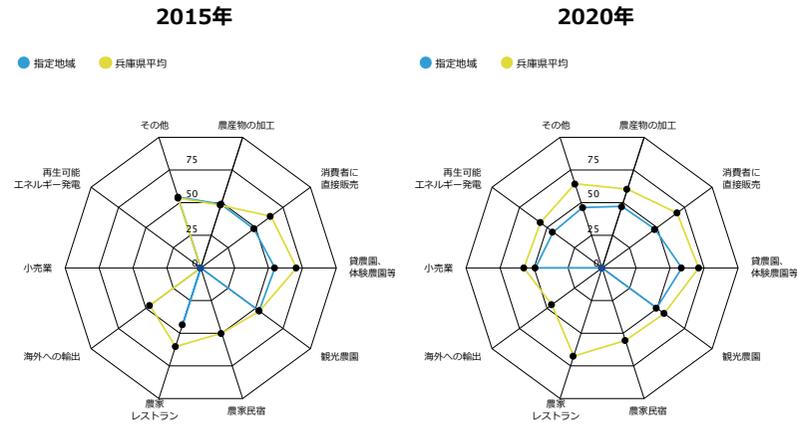
【出典】
農林水産省「農林業センサス」再編加工
【注記】
法人化率 = 法人経営体数 ÷ 経営体数
法人とは、農事組合法人、会社、農協、森林組合等をいう。
【参照メニュー】
産業構造マップ→農業→農業者分析→農業経営体の法人化率

グラフから
読み取れること

2020年の農業経営体の法人化率は、全国平均より高い。
2015年と比較して農業経営体の法人化率は増加傾向であり、全国平均と比較して増加幅が大きい。

農業生産関連事業の実施状況(レーダーチャート)

指定地域：兵庫県宝塚市



【出典】

農林水産省「農林業センサス」再編加工

【注記】

レーダーチャートは各関連事業を実施している経営体数を偏差値化して表示。

数値値の場合は赤い点、データがない場合は青い点が表示。

農業生産関連事業：以下のいずれかの取組。

①農産物の加工②消費者に直接販売③貸し農園・体験農園等

④観光農園⑤農家民宿⑥農業レストラン⑦海外への輸出（2010年以降）

⑧小売業（2020年のみ）⑨再生可能エネルギー発電（2020年のみ）⑩その他

偏差値は以下式で算出。

偏差値 = 10（各事業を実施している経営体数 - 経営体数平均値） ÷ 標準偏差 + 50

【参照メニュー】

産業構造マップ→農業→農業分析→農業生産関連事業の実施状況→レーダーチャートを表示

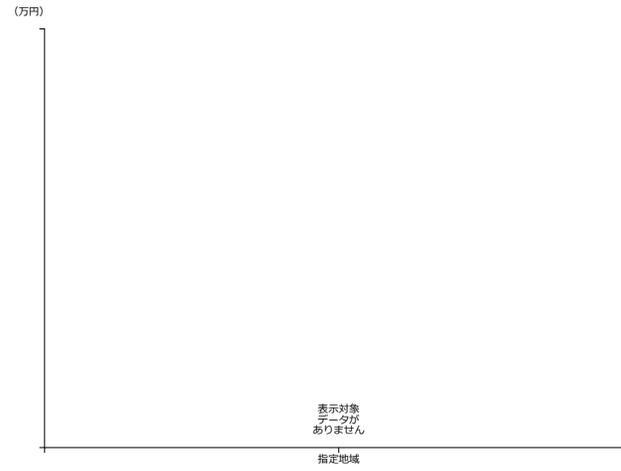
グラフから
読み取れること

2020年の農業生産関連事業の実施状況としては、「貸農園、体験農園等」が比較的進んでいる。

【目的】海面漁獲物等販売金額（総額）の状況を把握し、地域の漁業販売額の状況を確認しよう。

海面漁獲物等販売金額（総額）

指定地域：兵庫県宝塚市



【出典】
農林水産省「漁業センサス」再編加工

【注記】
販売金額=Σ（各階層中位数×各階層経営体数）。最上位層の中位数は、16億円として推計。
海面漁獲物等販売金額には海面養殖販売金額が含まれる。

【参照メニュー】
産業構造マップ→水産業→海面漁獲物等販売金額→グラフ表示

グラフから
読み取れること

表示対象データがありません。

【目的】 農業の状況を一覧で確認しよう。

兵庫県宝塚市

| 分析対象 | 表示年 | 全国平均 | 都道府県平均 | 対象自治体 | 比較自治体 |
|-------------------|-------|---------------|---------------|------------------|-------|
| 農業産出額（億円） | 2020年 | 1,901 | 35 | 17 | |
| 経営耕地面積（総面積）（a） | 2020年 | データ無し | データ無し | 28,128 (-10,386) | |
| 経営耕地面積（経営体あたり）（a） | 2020年 | 305 (+51) | 124 (+16) | 85 (-16) | |
| 農地流動化率（%） | 2020年 | 38.89 (+5.16) | 43.61 (+7.47) | 25.31 (+15.13) | |
| 平均年齢（歳） | 2020年 | 67 (+1) | 68 (+1) | 68 (+3) | |
| 最も割合の高い農業経営者の年齢構成 | 2020年 | 65-74歳 | 65-74歳 | 65-74歳 | |
| 法人化率（%） | 2020年 | 2.85 (+0.88) | 1.69 (+0.81) | 3.87 (+1.51) | |

※（）内の値は5年前と比較した時の変動値

【出典】

農業産出額

全国単位：農林水産省「農業総産出額及び生産農業所得」

都道府県単位：農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」

市区町村単位：農林水産省「市区町村別農業産出額（推計）」

経営体数

農林水産省「農林業センサス」

【注記】

「農業産出額」行の「都道府県平均」列の値は、産出額のデータがある市区町村のみを分母として算出している。

まとめの見方

- ・ 全国平均より低い項目を把握し、施策に役立てる。
- ・ 5年前より値が下がっている項目を把握し、施策に役立てる。